

1 回目穂肥は生育状態をみて慎重に！

高温、多照により生育が回復し、草丈が長く、葉色も濃くなってきました。しかし、地域や田植え日によって生育に大きな差が見られます。

1 7月9日現在の生育状況（品種：コシヒカリ 拠点ほ場8か所の平均）

● 茎数は目標値より多。葉色の濃い地点もあり、生育は地域差大。

		本年値 (分施肥体系)	前年値 (前年比・差)	目標値 (カシダ [®] -生育目標値比・差)	本年値 (*一発体系)
草丈(cm)		64	59 (108%)	63 (102%)	66
茎数(本/m ²)		530	542 (98%)	480 (110%)	418
葉数(葉)		10.5	10.8 (-0.3 葉)	11.0 (-0.5 葉)	10.3
葉色	SPAD 値	37.4	38.3 (-0.9)	36.0 (+1.4)	40.1
	葉色板	4.0	4.2 (+0.2)	3.9 (+0.1)	4.3

*一発：H30 から基肥一発体系(全量基肥施肥)数値を参考として掲載します

2 今後の管理ポイント

- (1) 地域・田植え日で生育に大きな差が見られます。幼穂長を確認し適期に適量の穂肥を施用しましょう。
- (2) コシヒカリで草丈が高く、葉色が濃い場合は、1回目の穂肥を遅め・控えめに施用する等の対応を行って下さい。
(下目安表または佐渡米カレンダー7月の項を参照)
- (3) ほ場内でも生育のバラつきにより遅れている部分がある場合は生育の進んでいる株に合わせて穂肥を施用しましょう。
判断がつきにくい場合、「味好2号(有機100%)」を出穂20日前頃目安に15kg/10a以下で施用しましょう。

目安表		葉色(カラースケール単葉)		
		3.5未満	3.5~4.0未満	4.0以上
草丈 (cm)	75以上	△	△	×
	70~75	○	○	▲
	75以下	☆	○	▲

- △ 施用量を減らす
- × 1回目は施用しない
- ▲ 施用時期を遅らせる
- ☆ 施用時期を早める
- 窒素成分で1kg/10a施用

※ 表は、出穂20日前(幼穂長0.5cm)時点の生育数値で確認しましょう